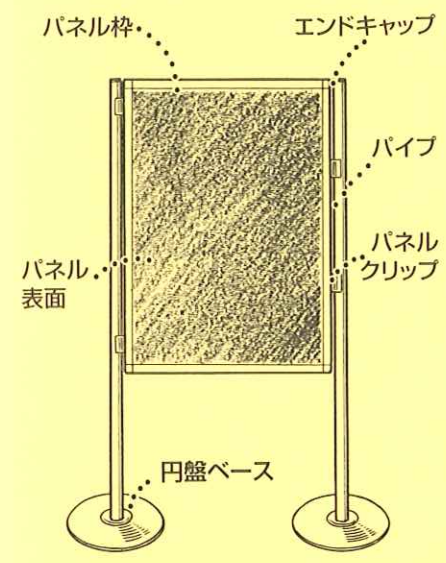
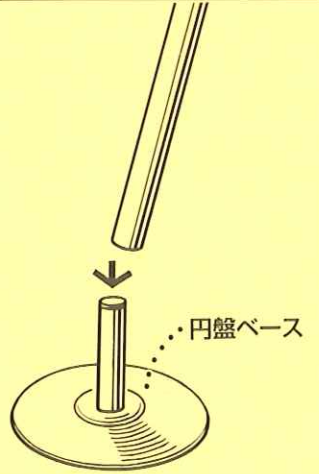
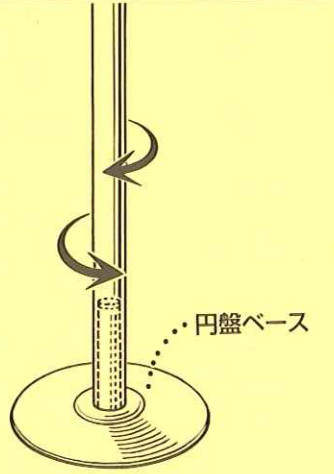
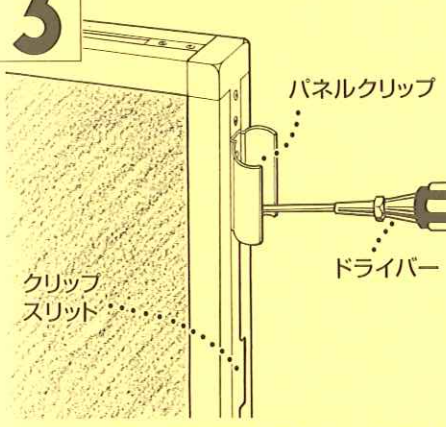
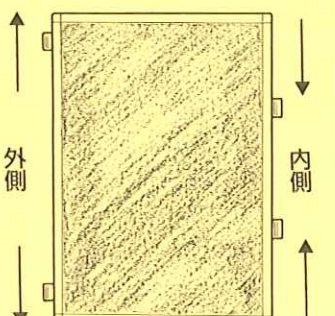
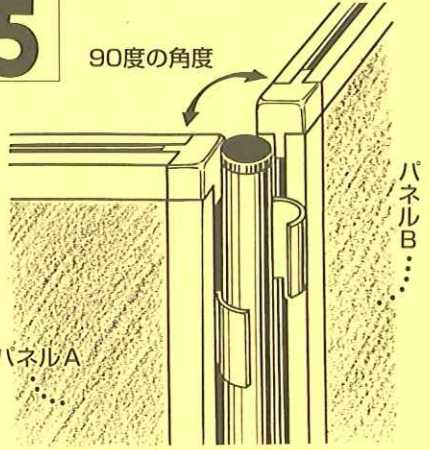
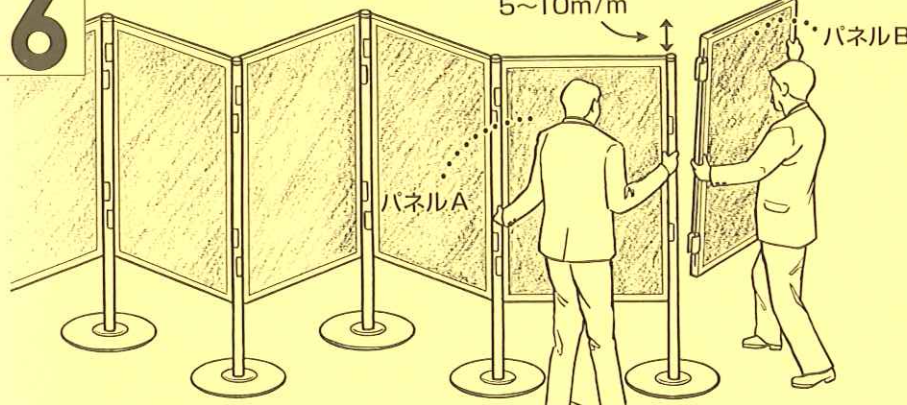
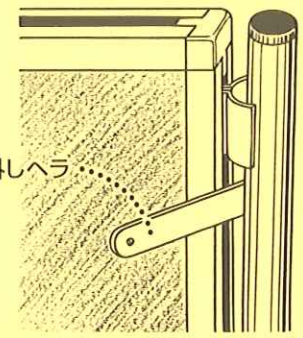


# VANTE·AN

## ヴァンテアンの組立説明書

 <p>パネル枠 エンドキャップ パイプ パネルクリップ パネル表面 円盤ベース</p>	<h3>1</h3>  <p>円盤ベース</p> <p>まず、最初にベースの凸起部分に、パイプを差し込んでください（キャスター付ベースも同様にしてください）。</p>	<h3>2</h3>  <p>円盤ベース</p> <p>差し込んだ後に、パイプを左右どちらかにひねると、パイプとベースは固定されます。</p>
<h3>3</h3>  <p>パネルクリップ ドライバー クリップスリット</p> <p>パネル枠に切っあるクリップスリット（パネルクリップの取付け口）にパネルクリップを差し込み、スライドさせ⊕ドライバーで固定します。</p>	<h3>4</h3>  <p>外側 内側</p> <p>図のように、4コのパネルクリップを固定する際は、2コは外側に、残りの2コを内側に取付けます（左右の枠へのパネルクリップの取付け位置は同じ高さに取りつけないでください）同様に、他のパネルも1～4の順序で組み立てます。</p>	<h3>5</h3>  <p>90度の角度 パネルA パネルB</p> <p>パネルができ上がりましたらパネルAに対して直角（90度）になる方向にパネルBを持っていきます。</p>
<h3>6</h3>  <p>5～10mm/m パネルA パネルB</p> <p>最後にパネルどうしをつなぎ合わせる際は、パネルBを5～10mm位パネルAより高めに仮取付けをし、その後レベルを合わせると容易に取付けることができます。</p>	<h3>パネルとパイプの解体</h3>  <p>外しヘラ</p> <p>パネルを取りはずす際は、外しヘラをパイプとパネルの間に差し込み、テコの原理を利用すると容易にはずれます。</p>	

〔注意事項〕 パネルの組立・解体及び移設は、2名以上で行ってください。

# ヴァンテアンパネル取扱説明書

このたびは、ヴァンテアンパネルをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書をお読みに  
なり、正しくお使いください。お読みになった後は、大切に保管してください。

## ⚠ 注意

【安全上のご注意】 ご使用にあたって、けがや事故を防ぐために以下の事項を必ず守ってください。

- 組立、解体、移設はバランスが崩れて転倒しないように、2人以上で作業を行ってください。
- パイプの高さが、1800mm以上のものは、直径が400mmのベースを採用してください。
- パネルには、厚さ50mmをこえるもの、又は重さ5kgをこえるものは吊り下げないでください。
- パネルクリップがゆるくなった場合は、パネルクリップを新品に交換してご使用ください。
- パネルとパネルクリップがしっかり固定されていることを確認してパイプに結合してください。
- パネルを組み立てる時、手や指を挟んだり、取付け金具の端部で傷を負わないように、ご注意ください。
- パネルに寄りかからないでください。バランスが崩れて転倒することがあります。
- 乱暴な取扱いや用途以外に使用しないでください。けがや破損の原因となります。
- 異常を発見したまま使用しないでください。本体が壊れてけがをすることがあります。
- 指定のパーツ以外は取付けしないでください。落下などの事故になることがあります。

【一般のご注意】 組立式掲示可能な簡易つい立です。ご使用上の安全を確保するため以下のことをお守りください。

- 設置場所は屋内専用にしてください。
- 床面は平滑な場所に設置してください。
- 高価な物品を吊り下げたり、貴重な品物の近くに設置しないでください。
- 火気や暖房器具の近くに設置しないでください。
- お客様ご自身での製品の分解改造等は、なさらしないでください。

## パネルシステムの仕様

1. パネル本体：芯材はペーパーロールコア  
表面材はナイロンルーブクロス  
(表面材ベルエースは、防災認定取得済商品)
2. パネル本体枠材：アルミ押出型材
3. パイプ：アルミ押出型材 φ32mm
4. パネルクリップ：アルミ押出型材+スチール座金
5. エンドキャップ：ABS樹脂製化粧キャップ
6. ベース：円盤ベース φ400mm、φ300mm  
スチールt=4.5mm(焼付塗装仕上)  
：T型ベース 120×400×4.5mm  
スチール(焼付塗装仕上)

## お手入れ方法

- 中性洗剤を水で希釈したものに布を浸し、硬く絞ったもので汚れを拭き取り、更に水洗いした布を硬く絞り、洗剤をよく拭き取ってください。
- 表面材の破損の補修は致しかねますので、お手入れには十分ご注意ください。

※その他、お気付きの点がございましたらお問い合わせください。